

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

平安祭典西条西セレモニー会館を 津波避難ビルに指定

2月23日、今治互助センター(株)と「津波避難ビルとしての使用に関する協定」を締結しました。この協定により、津波の際、平安祭典西条西セレモニー会館に



▲指定された建物の外観

市民が一時的に避難できるようになりました。建物は新川と国道196号が交差する付近に位置し、JR壬生川駅から車で5分の場所にあります。

津波から身を守るため、地震による強い揺れや弱く

てもゆっくりとした揺れを感じたときや、揺れがなくても防災行政無線やテレビ・ラジオで津波警報などを見聞きしたときは、自ら進んで津波想定エリア外へ避難してください。万が一、逃げ遅れたり、遠くまで避難できない場合は、津波避難ビル（3階以上の階）に避難し、津波警報などが解除されるまで必ず避難を続けてください。津波避難ビルは津波からの緊急的・一時的な避難場所のため、食糧などの備蓄はありません。津波警戒情報などが解除されたら、速やかに自宅または避難所に移動してください。

災害は、日ごろからの備えが重要です。ハザードマップなどを用いて、避難場所・避難経路や緊急連絡先を確認しましょう。詳しくは市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

重信川の源流が丹原に？ ～県都を潤す水の源～

愛媛県中央部に位置し、幹川流路延長36キロメートル、流域面積445平方キロメートルの一級河川・重信川の源流点が丹原にあるのをご存じですか。

西条市・今治市・東温市の接するところに高縄半島



▲源流点の目印

を覆う山塊の最高峰「東三方ヶ森」（標高1,233メートル）があります。そこから東北東約500メートル、標高1,000メートルの丹原町田滝の山中に源流点があり、「重信川の自然をはぐ

くむ会」と行政などの関係者により、オブジェと案内板が設置されています。

丹原にはほかにも石鎚山系の西端の堂ヶ森（標高1,689メートルで石鎚国立公園内にあり、なだらかなスロープを覆う一面の笹や、厳しい自然が作った白骨林など大自然の景観が人気）、三ヶ森（標高1,378メートル、石鎚山がきれいに見えることで有名。東は笹ヶ峰や瓶ヶ森から西は石墨山まで石鎚山系が一望できる）など、登山者に人気の山があります。

山の情報などは、赤滝登山会代表の十亀隆良さん（TEL090-7142-0017）にお問い合わせください。



▲堂ヶ森の風景

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

未来への種まき

「子どものころは、近所の川で魚を捕まえたり、田んぼのわらぐろ（稲わらを乾燥貯蔵のために積み上げたもの）に上って遊んだのが懐かしい」そう話してくれたのは、北川地区環境保全会の戸田博明会長（68歳）です。

農村環境の保全管理に取り組む同会では、今年度事業の1つとして、愛護班の協力でアユの放流とひまわりの種まきを行うことにしました。



▲アユの放流

4月30日、地域に農業用

水として利用されている川、通称「天神さん」には、親子連れなど40人が集まりました。近くに湧く泉を源流に持つ天神さんの澄んだ水面に、用意した体長10センチほどの稚アユ1,500匹を、子どもたちが次々に放流。アユが群れを成して泳ぐ姿に「昔はこの川にもアユがあったなんて信じられん」など、驚きの声が聞かれました。その後は、近くの休耕田でひまわりの種まき。2カ月ほどで子どもの背丈くらいになるそうで、7月には育ったひまわりを迷路状に刈り、子どもたちの遊び場にする予定です。

近頃わらぐろは見かけなくなりましたが、こうした活動を通じて子どもたちが自然に親しみ、農業を身近に感じ、将来、地域の農地を受け継ぎ守ってもらいたい。活動にはそうした思いがこめられています。